



CONTENTS

P2 ▶ 新年度を迎えて

P5 ▶ 学級担任の言葉

P6 ▶ 専攻主任の言葉

P7 ▶ 高専に入学して

P8 ▶ 学校通信

P10 ▶ 令和4年度行事予定表

Special Interview

～新年度を迎えて～



人にして遠き慮り無ければ、必ず近き憂い有り

校長 田村 隆弘

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

高専制度は今年60周年(本校は令和7年に創立60年)を迎えますが、本校では、これまでに8,400人を超える卒業生を送り出しています。彼らは本校での研鑽の日々を乗り越え、実践力のある人として活躍しています。皆さんも本校の学生として誇りと責任を持ちつつ、努力の日々を重ねて下さい。

人は誰しも、過去行ったこと、現在行うこと、未来に行わなくてはいけないことの3つの問題と向き合っています。ここでは、皆さんが学生生活で出会う3つの問題と、それらを乗り越える5つの方法についてお話しします。それらはある意味、学校が存在することの意味でもあります。

1つ目は、知識や技術を身につけるという問題です。

学校は、一人ひとりが自立し、社会全体で幸せに生きるための知識や方法を学ぶところです。

例えば、「美味しい卵焼きを作る」という命題は、数学やAIを駆使することで答えが出ます。この数学やAIについて学ぶのが学校です。ただし、ここで答えとして導かれた「美味しい卵焼き」の味は、おそらく、お母さんの卵焼きには敵いません。

学びの本質は、私たち教員が何を教えたかではなく、皆さんが何を身につけたかにあります。

社会を取り巻く様々な課題には、既に教科書に答えが書いてある課題と教科書には載っていない課題があります。皆さんが科学技術者として社会に出たときに、教科書に答えが書いてある課題が分からないようでは困ります。教科書に載っていない課題については、答えを導き出す方法を、様々な講義や研究を通じて学んでいただきます。

2つ目は、健康な体と健全な心をつくるという問題です。

健康な体をつくるには、基本的な生活習慣を身につけることが大切です。また、健全な心は、様々な場面で現れる問題に対して、何が正しいのかを考えながら行動するように努めることで醸成されます。

そして、3つ目の問題は、将来の生き方を見つけること。

いくら知識を蓄え健康でも、社会における役割を見つけれないと、生き方に迷うことになります。様々な人との交流や体験を通じて、社会の仕組みや関係性を学ぶ努力が必要です。

いかがでしょうか。では、これらの問題を乗り越える方法を簡単に紹介します。

1つ目は、問題の種を溜めないこと。例えば、宿題などを溜めないことです。問題は、小さいうちに処理することが大切です。

2つ目は、色々なことを他人と比較しないこと。自分の生き方を大切にしてください。

3つ目は、夢を持つこと。あるいは、具体的な目標を持つことです。夢や目標は、自ずとプラスのエネルギーを生み出します。

4つ目は、日常の小さな幸せを大きく喜ぶこと。趣味を持つことも良いですが、ゲームに自分の人生を弄ばれて、大切な時間を浪費してはいけません。

そして、最後の5つ目は、周りの人や物との関係を大切にすることです。家庭、学校、地域などの社会は、人間だけではなく、自然や様々な物質が関係し合い支え合っています。より良い関係を築くには、モラルや挨拶などのマナーを大切にすると良いでしょう。

「人にして遠き慮り無ければ、必ず近き憂い有り」とは孔子の言葉ですが、ぜひ、将来のことを考えながら、信頼される人物になる準備をしてください。

皆さんの高専生活が、充実したものとなりますよう祈念します。

Special Interview

～新年度を迎えて～



教務主事
藤田 克志

新年度を迎えて 一風を見た、その後

ノンフィクション作家・沢木耕太郎の『パーボン・ストリート』にマラソンランナーについての章があります。その中に「誰でも、何をしても、最初は一心不乱に前へ進もうとする。しかし、やがてその行為に慣れてくると、周囲の状況が眼に入ってくる。それと共に前に進むスピードが鈍るようになる」との一節があります。周囲の状況や風景が見えた人を「風を見た人」というふうに沢木耕太郎は言っています。さらに「大事なことは、風景が眼に入らないことではなく、入るようになったあとで、もう一度、集中できるかどうかではないか」とも言っています。

学生諸君は、新年度を迎えて心機一転、心に期するものがあると思いますが、普段いろいろ悩んでいる学生を見てみると、わたしは上述のことばを思い起こします。きみたちには「風が見える」ようになったその後、どのように行動するかよく考えてほしいと思っています。迷うことは悪いことばかりではなく、自分自身を見直す良い機会でもありますし、よく考えるという行為そのものに意味があるのだと考えます。わたしたち教職員と一緒に悩み考えていきましょう。そんなきみのためにわたしたちは存在しています。



学生主事
中谷 実伸

「新入生の皆さんへ」

令和4年度新入生の皆さん。ご入学おめでとうございます。この日を迎えられたのは、皆さんの努力と周囲の方々の支えによるものだと思います。そのすべてに敬意を表します。

世の中は、未だ新型コロナウイルスに翻弄されています。皆さんの中学時代の半分以上はwithコロナの生活だったと思います。残念ながら、その影響はまだ消えていません。新1年生の皆さんには、オリエンテーション合宿研修を受けてもらいましたが、昨年に引き続き今年度も宿泊無しの研修となります。他にもいろいろなところで、その影響を感じるようになるかと思っています。

しかし、私たちは、学びの歩みを止めるわけにはいきません。皆さんは、乾いたスポンジが水を吸うが如く、いろいろなことを目一杯吸収できる年代です。勉強はもちろんのこと、部活動や学生会活動、様々な学校行事や新しい友人、本や映画など、学ぶ機会はたくさんあります。コロナ禍などの制限はあるかもしれませんが、ぜひこの福井高専で、いっぱい学んでください。そして良いものを貪欲に吸収してください。この学校で得たものが、皆さんの未来を形作ります。

充実した学生生活を送ることを、願っています。



寮務主事
原口 治

今こそ世界にはばたけ！ 福井高専『青武寮』

福井高専学生寮(通称『青武寮』)では、学習意欲を有し通学距離の遠い250人程の寮生(含アジア各国の留学生)が共同生活を送っています。青武寮関係者一同、新入生のご入学を心から歓迎します。通学生の皆さんもぜひ青武寮に興味を持って下さい。

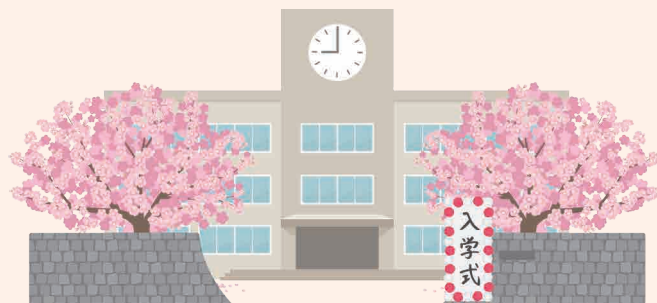
この2年余り、新型コロナウイルス感染予防を最優先に、青武寮は出来る限りの行事を実施し、寮生間のつながりの場を最大限に創り出してきました。たとえコロナ禍であろうとも、新入生にとっては二度とない貴重な高専生活がこれから始まります。青武寮では寮生会役員と教職員の協働体制を軸に、新入寮生を力強く手助けしていきます。新入寮生の皆さん、まずは日常生活のリズムを身に付けましょう。

今秋には、食堂、浴室、学習室、女子寮等をリニューアルした新棟(『青武寮グローバルハウス』)が完成します。その後、年度末まで各種工事が続きますから皆さんの協力が不可欠です。今こそ、世界にはばたく輝かしい未来の青武寮を共に創造していきましょう。

末筆ながら、保護者の皆様に対して、青武寮に格別のご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

*福井高専『青武寮』HP:

<https://www.fukui-nct.ac.jp/~ryomu/saito/TOP.html>



Special Interview

～新年度を迎えて～

専攻科長
辻子 裕二

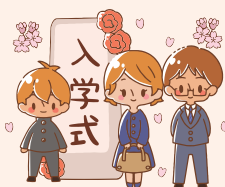
「エビデンス」は大切です。

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

昨年度と同じ前置きとなりますが、今年度も新型コロナウイルス感染症の完全な収束を待たず入学のタイミングを迎えることとなりました。皆さんにとっては不安も大きいと思いますが、コロナ禍なるこの経験を単なる不運と捉えるのではなく、自身を強固にするための試練として受け止められ、克服時には自信として蓄積し、次の危機に備えていただきたいと思います。

さて、コロナ禍で改めて注目されたキーワードに「エビデンス」があります。科学者はエビデンスの基礎となるデータ等を集め、そのデータを見極め、現象を分析し、時に今後を予測します。こうやって知見が整理され、エビデンスが更新されていきます。この際、自分に(自分の仮説に)都合良いデータだけを採用すれば、現象を正しく分析することはできません。皆さんは技術者のたまごです。今後、技術者・科学者として成長するために、まず、「データ」を偏見なく見つめ、「データ」を尊重し、「データ」を丁寧に扱うことを心掛けてください。「データ」はあなたに正しい論理を導いてくれます。

さて、賢明な皆さんならおわかりですね。「データ」を「クラスメート」に置き換えられることに。

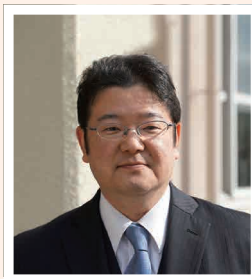
図書館長
加藤 寛敬

偶然の出会い

イギリスの大学に留学していた今から30年近く前の頃のことである。文献を探しに大学の図書館に行った。その文献のタイトル、著者名、雑誌名、発行年などは分かっている。分厚く製本された雑誌がアルファベット順に並んでいる書庫の本棚に向かった。ようやく、その発行年の雑誌を見つけることができた。それを手に取りページをめくっていった。ページ数の多い雑誌だったので、その文献を見つけるのに手間取った。その時のことである。自分の研究と関係のありそうな興味深いタイトルが目に入った。ページをめくるのをやめて、その文献(論文)を少し読んでみると、それには私が以前からやってみたくと思っていた研究の実験手法が詳しく記述されていた。当初探していた文献のことは忘れて、たまたま偶然に出会った論文を夢中になって読んだ。自分の研究の世界が広がっていくのを感じた。とてもワクワクした。

今ではWeb検索で論文や本を簡単にポイントで見つけることができる。目的地に一直線で到達するのは効率的かもしれないけれど、回り道してみると偶然の出会いがあって視野が広がる。図書館では本との偶然の出会いがある。探していた文献の本棚の周辺の本も開いてみると、そこには新しい発見がある。

偶然の出会いを求めて、ぜひ図書館に足を運んで欲しい。

学生相談室長
佐藤 勇一

学年のはじめにあたって

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。新生活の慌ただしさの中、期待と不安が入り混じっていることでしょう。高専内にも緑がありますが、高専の近くには西山公園など樹々のある場所があります。新入生の皆さんも、在学生の皆さんも、時折そうした場所を散策するといいかと思います。木漏れ日が揺れる森の中や大きな樹の下には、慌ただしさの中で普段は見失いがちな、踏み迷ったり、立ちすくんだりできる大切な時間が流れています。切り株の年輪から長い時間を感じることもできるでしょう。年輪年代学では、年輪からある場所の西暦何年ごろの当時の気温や宇宙線の注ぎ方などもわかるのだそうです。年輪には、時間だけでなくかつての環境の情報も包み込まれています。われわれは一本の樹におよばない時間しか生きませんが、やはりわれわれも周囲の環境から影響を受けています。皆さんも気づかずストレスを抱え込んでいるかもしれません。勉強のこと、友人のこと、家族のこと、様々な問題に直面するかもしれません。そのようなときは、学生相談室や保健室を利用して、普段と違う時間を過ごしてみてください。専門のカウンセラーや相談室員、看護師が相談を受け付けます。学生相談室と保健室は福利厚生棟2階にあります。気軽に訪れてください。



Special Interview

～学級担任の言葉～



F1クラス担任
マグラナン ボリン アンナ テレーゼ マラヤ

困難を楽しむ： PassionとConnection

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。さて、「Passion」と「Connection」の意味を調べてみましたか？高専には数え切れないほどたくさんのハードルや困難、課題、プロジェクト、実験、そしてテストなどが当たり前のように用意されています。また、授業は面白いですが、内容は高度で難しく思えるかもしれません。しかし、必要以上に恐れることなく、この旅を楽しんでほしいと思います。でも一体どうやって？

ひとつは、ゲームと勉強以外に「息抜き」できる何かを見つけること。それを高専生活と両立させて常に息抜きすることを考える。ではいつ勉強するのか？いつ友達と会うのか？いつゲームをするのか？そして、自分の息抜きのための時間をいつ確保するのか？私は来日してから趣味として着物の着付(装道)を続けています。今でも週に最低2時間はそれでリフレッシュする時間を割いています。みなさんはどうですか？ゲーム以外で夢中になれることは何でしょうか？

もうひとつは「つながり」です。人と交わり、協力し合うことで高専生活を楽しむ。何か違和感があったら、誰かに聞いたり相談したりする。もし、あなたが聞き手ならすぐに答えを出そうとせず(判断しない)、積極的に意見を言わない。相手に共感することに努め、自分が話す前に相手の話を聞く。つまり判断する前に聞くということ。それが友達の大きな支えとなり、且つ、あなた自身も友達の経験から学ぶことができます。私たち教員もそのことを心がけていつもみなさんのお話に耳を傾けています。

高専は、スパイスの効いた楽しい学び舎です。「息抜き」と「つながり」を意識しながら世界一のエンジニアになるための旅を大いに楽しみましょう。



F2クラス担任
相場 大佑

新入生の皆さんへ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから始まる新生活に期待をもつ一方、勉強内容や友人関係に不安を感じている方もいるかと思います。焦らずに落ち着いて慣れていきましょう。

高専は高校とは異なり、1コマの授業時間は90分で、一般科目に加え、学科ごとに分かれて専門科目の授業も行われます。慣れるまでは、90分の授業時間が大変で疲れるかもしれません。また、県内外で通学が困難な学生は、寮生活を送ることになると思います。経験したことのない新たな環境での集団生活に、毎日が緊張の連続で、あっという間に時間が過ぎていくことでしょう。

さて、そんな大変な生活を送るうえで、忘れないで欲しいことを2つあげたいと思います。

1つ目。高専に入学した目的を忘れないでください。皆さんは、自分のやりたいことがあって、それぞれの専門学科へ入学しているはずです。地道に日々の勉強を積み重ねることが大切です。

2つ目。学校生活で困ったこと、悩みごとなどがあれば、1人で抱えずに、友人・先輩・我々教員へ相談してください。助けになってくれるはずです。

最後に、これから慌ただしい日々が始まりますが、心身の健康には十分に注意して一緒に頑張っていきましょう。



F3クラス担任
池田 彩音

一時の恥をかい 得られるもの

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これからどんな高専生活を送っていくことになるのか、不安と期待の両方を抱えているかと思っています。

新しい環境では、困ったときにどう対処すればよいかわからないこともあるでしょう。高専のことであれば、ホームページや学生便覧で調べるといった方法があります。それでもわからない場合は、知っていそうな人に聞く、というのが手っ取り早い解決方法です。あなたの周りにはたくさんの方がいるはずです。でも、いざ声を掛けようとする、誰にでも声を掛けられるわけではないかもしれません。相手の反応を気にしたり、緊張したり、タイミングが合わなかったりすることもあるでしょう。そんなときは、「聞くは一時の恥、聞かぬは一生の恥」という言葉を思い出して、聞くほうに一步を踏み出してほしいと思います。結果としてすぐに解決しなくても、自分が困っていることを誰かに知ってもらうことは、良い結果につながっていくはずです。私もできる限りのサポートをしたいと思います。誰かに声を掛ける少しの勇気を胸に、自分の希望を叶えるための高専生活を送ってほしいと思います。



～学級担任の言葉～



F4クラス担任
青木 宏樹

新入生の皆さんへ

福井工業高等専門学校ご入学おめでとうございます。新入生の皆さんは希望に満ちて本校に入学されたと思います。将来、技術者を目指す人や研究者を目指す人等、各自それぞれ将来の展望を持っているでしょう。是非これからそれを大切に持ち続けてください。もちろん、様々なことを学ぶことで将来目指すものが変わってもよいと思います。大切なことは常に目標を持ち続けることです。目標を持つとそれに向かって努力できるものですし、目標を達成するために今やらなくてはならないことを考えることができるでしょう。また、生きがいや目標があることによって、張り合いのある生活が送れると思います。若い皆さんは、積極的に様々なことに取り組み、貴重な経験を積んでほしいと思います。それが、目標を達成するうえでの糧となるでしょう。そして、是非、皆さんには自身の目標を達成するために学びを豊かにしてほしいと思います。皆さんの目標を達成するためのお手伝いを本校は必ずできると思います。希望を持って学校生活を送ってください。



F5クラス担任
長谷川 智晴

「学級担任の言葉」

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。F5クラス担任の長谷川です。実はクラス担任はずいぶん久しぶりで、私も、皆さんと同じようにフレッシュな気持ちで新年度を迎えています。さて、高専は、何もかもが中学校とは異なる環境です。皆さんは「生徒」ではなく「学生」です。自立し、自主的に学ぶことが期待されています。私も皆さんを「学生」として扱いますので、覚悟を決めてください(笑)。ただ、皆さんはまだ中学校を卒業したてで、何もわからないでしょうから、私を含めた教員や先輩学生からいろいろ教わってください。そして、早く「学生」になることを願っています。

皆さんに今、一つだけアドバイスするとしたら、「スタートダッシュしてください」です。高専で苦勞する学生に共通してみられるのは、スケジュールを守らない、課題を後回しにする、スマホにはまる、です。これらを克服できれば、高専の学習はスムーズにできます。まず、5月の連休の間までちょっと我慢して、意識して早めに予定をこなしてみてください。ちょっとだけアクセル踏んで予習復習に力を入れてみてください。そうすれば、自然と学習のリズムができて、「学生」になれると思いますよ。



～専攻主任の言葉～



生産システム工学専攻主任
亀山 建太郎

お互いに悔いのない
専攻科生活を

まずは、専攻科へのご入学／ご進級おめでとうございます。

皆さんが専攻科で学ぼうと考えた理由には、専門性を高めることや、単に勉強や研究が楽しいなど、様々な理由があると思います。そこで、新学期に際し、改めて心して欲しいのですが、漫然と講義を受けるだけでは、目的とする能力が、自然に身につくわけでは無いということです。

学校は、学びの機会を提供しますが(そして、それなりに工夫していますが)、高等教育では、受講者の思惑が多様であることから分かるように、学びは一本のルールではありません。受講者には、講義から目的に沿った内容を抽出して育てるという、自主的な学びが期待されています。一方で、受講者が、目的に対して適切な学びを行えるようにサポートするのが、専攻科のスタッフや研究指導教員の役割だと、私は考えています。

このように、目的を意識して講義を受ければ、学びの質は異なるものになると思いますし、学生と教員の間に、指示待ちではない関係を築くことができれば、その効果は、とても大きいものになると思います。

お互い、悔いのない専攻科生活を送りましょう。



～専攻主任の言葉～



環境システム工学専攻主任
野々村 善民

専攻科は 研究活動の第一歩

専攻科に入学おめでとうございます。令和4年となり、この原稿を読む時には、コロナ禍が終息し、私達の学校生活は落ち着きを取り戻しているものと思います。また、これまで以上に、社会から高いレベルの成果が高専教育と研究活動に対して求められます。

新年度となって、専攻科の新しい複合科目が開講されます。そこでは本科で修得した専門知識に加えて、別の分野の専門知識が必要となります。また、学生同志が連携し、複数の教員からの指導があります。各科目において、継続的に議論が繰り返されることで、高度な専門知識が修得できます。これらの学業成果を学会などで研究発表することで、研究に対する社会的かつ学術的な意義が明らかになります。

そこで、専攻科に入学する学生の皆さんにお願いしたいことがあります。最初に、これまでの学業で得た知識を活用してください。次に、専攻科の2年間で様々な出来事に直面した場合、物事の本質を追求し、最先端の研究を継続するための勇気を鍛えてください。最後に、これからの学業は楽しいものであると思ってください。



～高専に入学して～

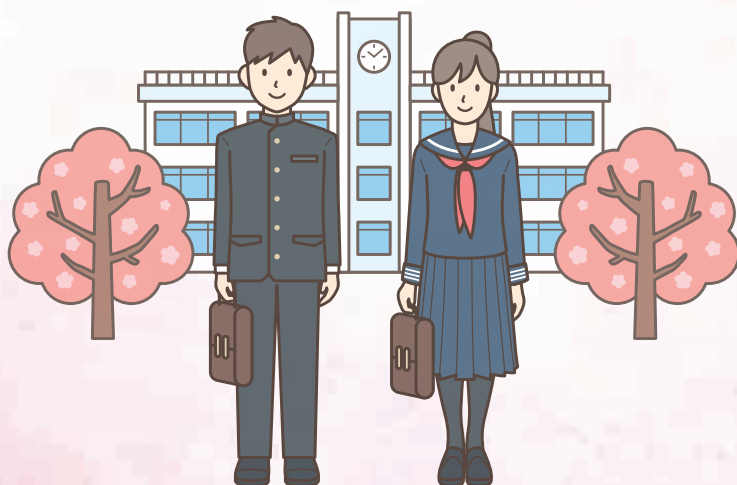
高専に入学して

クラスメイトの大切さ 電子情報工学科2年 小川 拓也

私は高専に入学して、一年間、とても充実した学校生活を送ることができたと思います。入学した当初は、勉強など何から何までわからないことだらけで、普通高校とも違う高専では、中学校の頃の友人にも相談することも難しい状況でした。しかし、様々な学校行事でクラスメイトと交流することもできたおかげで、すぐに友人もでき、私のこの不安はすぐになくなっていきました。

高専に入学してから一年間で特に印象に残っていることは、F1のクラスメイトは皆、勉強熱心だということです。私が通っていた中学校では、各々が自分で勉強して理解していくことが多かったのですが、高専では、勉強でわからないことがあれば、周りの人や先生にすぐ質問して、教えてもらったりすることがとても多いと感じました。実際に私も、クラスメイトに教えてもらったり、質問されときには教えてあげたりするなどしたおかげで、勉強の理解度が格段に上がったように感じられました。クラスメイトの苦手な部分はクラスメイトが補うといった環境が整っていたため、勉強にも苦手意識もなく取り組むことができたと思います。これは私が所属する電子情報工学科のクラスでも同じです。私が全くの初心者プログラミングの授業で困っていたら、周りの皆が手を差し伸べてくれるなど、新しい内容でも恐れずに取り組むことができました。

このように、高専の「皆」で勉強に取り組んでいくという姿勢と環境がとても素晴らしいなと高専に入学して思いました。これからはF1とも離れて、電子情報工学科のクラスのみになってしまいますが、今まで通りクラスメイトと協力しあって、よりよい学校生活を送っていききたいと思います。



Special Interview

～学校通信～

青武寮通信2022 ―コロナ禍での学寮イベント―

青武寮では、福井県外出身者や海外留学生も寮生として共同生活をしています。国内外で猛威を振るう新型コロナウイルス感染症の影響も続いている中、対策を講じて4月に開寮し、入寮式にて新入寮生を迎えることができました。青武寮における感染症対策の生活様式を継続しながら、4月中旬に新入寮生歓迎会を学科別の分散形式で実施しました。5月には前年度に実施できなかった寮祭を予定していましたが、4月下旬から福井県内でも新型コロナ感染者が増加したため、延期となりました。その後は寮祭の実施時期を慎重に探り、新型コロナの波間の10月下旬に、寮生会役員の尽力



と寮生の協力により2年ぶりに寮祭を開催することができました。規模を縮小した形での寮祭実施ではありましたが、いずれの企画も盛り上がりました。中でも留学生交流会では、留学生による出身国の紹介の後で、海外の伝統的な全員参加型の遊びを通して親睦を深めることができました。年末年始からの新型コロナ第6波は思いのほか激しく、クリスマス会や5年生を送る会は見送りとなりましたが、何とか学年末まで辿り着きました。

現在は着々と新棟を建設中です。次年度の新棟完成を寮生皆が心待ちにしています。



～令和3年度第3回学生表彰受賞者一覧～

校長特別賞 5年間通して学業成績優秀者

機械工学科5年	長谷川 篤哉
電気電子工学科5年	菅原 真実由
電子情報工学科5年	清水 陸

校長特別賞 県民衛星「すいせん」データ活用アイデアコンテスト2021

最優秀賞	環境都市工学科5年	岩腰 祐磨
------	-----------	-------

校長賞 4年間(4回)学業成績優秀者

電子情報工学科5年	宮田 知浩
-----------	-------

校長賞 県民衛星「すいせん」データ活用アイデアコンテスト2021

特別賞	環境都市工学科5年	西 楽人	特別賞	生産システム工学専攻2年	柴田 光貴
特別賞	生産システム工学専攻2年	河野 智弘	特別賞	生産システム工学専攻2年	山本 善貴
特別賞	生産システム工学専攻2年	近藤 弘星	特別賞	電子情報工学科5年	岩本 歩夢
特別賞	生産システム工学専攻2年	齋藤 航	特別賞		

奨励賞 1年間学業成績優秀者

電気電子工学科5年	井伊 瑞姫	電子情報工学科5年	芹澤 菜苑	物質工学科5年	小谷 啓仁	物質工学科5年	松本 皓大
電気電子工学科5年	伊部 賢人	電子情報工学科5年	谷川 貴英	物質工学科5年	川端 優生	物質工学科5年	宮崎 夏凜
電気電子工学科5年	坪内 廉	電子情報工学科5年	山口 憂人	物質工学科5年	杉森 麻那	物質工学科5年	室田 彩乃
電子情報工学科5年	石川 晴基	電子情報工学科5年	山野 宗馬	物質工学科5年	千京 律斗	物質工学科5年	山田 恵理香
電子情報工学科5年	岡田 篤哉	物質工学科5年	市橋 実和	物質工学科5年	辻 優香子	物質工学科5年	渡辺 絢晴
電子情報工学科5年	佐野 友亮	物質工学科5年	伊藤 蒼生	物質工学科5年	中村 颯汰	環境都市工学科5年	寶居 里奈
電子情報工学科5年	鈴木 琢人	物質工学科5年	伊藤 千騎	物質工学科5年	東 一花		
電子情報工学科5年	鈴木 智也	物質工学科5年	大塚 凜生	物質工学科5年	藤本 晴香		

～学校通信～

部・同好会の紹介

部活動として体育部が19、文化部が8、同好会が14あり、幅広い分野で活発な活動が行われています。



体育部 少林寺拳法

部員たちで切磋琢磨し、護身に役立つ実戦的な技や演武の練習をしています。初めての人でも気軽に始められます。毎週火、水、金の16:30～19:00が活動時間で、勉強との両立も可能です。インターハイ正式種目でもあり、多くの出場実績があります。

指導教員 川上 由紀、藤田 克志、門屋 飛央、岡本 拓夫



体育部 水泳

水泳部は、プールを使用し、涼しく、楽しく活動しています！リレーが強く、全国高専体育大会で1位を取ったこともあります。また昨年は個人種目で大会新記録も出しました。部員全員で切磋琢磨して練習を行っています！

指導教員 西 仁司、木村 美幸



体育部 合気道

合気道部は学生が主体となって精力的に活動しています。普段の週2回の稽古に加え、年に数回合宿を実施しており、身に付けた技は高専祭で披露します。(写真は2019年)コロナウイルスに負けず、頑張って活動していきます。

指導教員 松浦 徹、松井 栄樹、秋山 肇、辻子 裕二



文化部 囲碁・将棋

囲碁・将棋部には、現在13名の学生が所属しています。初心者でも、経験者の方でも大歓迎です。囲碁か将棋どちらか片方だけでも良いので、興味のある方は是非お越しください。

指導教員 山田 哲也、原口 治、相場 大佑



3年物質工学科 大瀬健太郎 作

同好会 グラフ電卓研究会

私たちの部活では、左上の写真に掲載されているグラフ電卓と呼ばれる物を使って、グラフのみで絵を描くグラフアート作りを行っています。また、グラフ電卓だけでなく、折り紙と数学の関係など、一人ひとりが興味を持っている数学についても勉強しています。

指導教員 柳原 祐治、井之上 和代



同好会 スポーツクライミング

スポーツクライミング同好会では、月に1～2回程度(不定期)、校外のボルダリングジムで練習を行っています。体力の増進や、気分転換を目的にゆる～く活動をしています。意外と頭も使うんですよ。

指導教員 長谷川 智晴

その他の部・同好会一覧

体育部門

- ・陸上
- ・卓球
- ・男子バスケットボール
- ・女子バスケットボール
- ・ラグビー
- ・サッカー
- ・野球
- ・男子バレーボール
- ・女子バレーボール

- ・バドミントン
- ・テニス
- ・ソフトテニス
- ・剣道
- ・ハンドボール
- ・ソフトボール
- ・軟式野球

文化部門

- ・英語
- ・モダンミュージック
- ・吹奏楽
- ・ロボット
- ・アマチュア無線研究会
- ・放送・メディア研究会
- ・空間デザイン

同好会

- ・天文
- ・茶道
- ・日本現代視覚文化
- ・サイエンスクラブ
- ・フットサル
- ・ダンス
- ・音鍵研究会
- ・Structural Design研究会
- ・珈琲
- ・プログラミング研究会
- ・書道
- ・セパタクロー

令和4年度行事予定表

前期

4 月			5 月			6 月		
1	金	春季休業（～4/5）	1	日		1	水	
2	土		2	月		2	木	
3	日	開寮（10:00）	3	火	憲法記念日	3	金	休業 高校春季総体県予選 大学院研究室訪問(専攻科1年)
4	月		4	水	みどりの日	4	土	専攻科入学者選抜(推薦選抜)追試験
5	火	入寮式(13:00) 新入寮生オリエンテーション(14:30)	5	木	こどもの日	5	日	
6	水	入学式(10:00) H・R(1～3年、11:00) 教科書販売(2・3年、11:00～) 保護者懇談会(11:30～) 一斉健康診断(本科・専攻科)	6	金		6	月	金曜日の授業
7	木	専攻科オリエンテーション(1年、10:00)(2年、14:00) 課題確認テスト H・R(4・5年) 教科書販売(4・5年、専攻科、13:00)	7	土		7	火	
8	金	前期授業開始	8	日		8	水	
9	土		9	月		9	木	
10	日		10	火		10	金	前期中間学力確認週間(試験または授業)
11	月		11	水		11	土	
12	火		12	木		12	日	
13	水	短縮授業 放課後:新入生歓迎会、クラブ紹介	13	金		13	月	前期中間学力確認週間(試験または授業)
14	木		14	土	舞鶴交歓試合	14	火	前期中間学力確認週間(試験または授業)
15	金		15	日		15	水	前期中間学力確認週間(試験または授業)
16	土	新入生オリエンテーション研修	16	月		16	木	前期中間学力確認週間(試験または授業)
17	日		17	火		17	金	前期中間学力確認週間(試験または授業) 専攻科休業
18	月		18	水	4年TOEICIP	18	土	予備日
19	火		19	木		19	日	専攻科入学者選抜(学力選抜)
20	水	放課後:校長表彰・校長訓示 学生総会	20	金		20	月	前期中間学力確認週間(試験または授業) 専攻科休業
21	木		21	土	寮祭 専攻科入学者選抜(推薦選抜)	21	火	前期中間学力確認週間(試験または授業) 専攻科休業
22	金		22	日	寮祭	22	水	
23	土		23	月		23	木	
24	日	開校記念日	24	火		24	金	
25	月		25	水		25	土	北陸地区高専体育大会(石川高専:ラグビー・野球)
26	火		26	木		26	日	北陸地区高専体育大会(石川高専:野球)
27	水	不合格科目の合格認定に関する計画書提出締切日	27	金		27	月	
28	木		28	土	予備日	28	火	
29	金	昭和の日 球技大会	29	日		29	水	
30	土		30	月		30	木	
			31	火				
7 月			8 月			9 月		
1	金		1	月		1	木	
2	土	北陸地区高専体育大会(石川高専)	2	火		2	金	
3	日	北陸地区高専体育大会(石川高専)	3	水		3	土	
4	月		4	木	本科・専攻科期末試験	4	日	
5	火		5	金	本科・専攻科期末試験	5	月	
6	水		6	土	予備日	6	火	
7	木		7	日		7	水	
8	金		8	月	本科・専攻科期末試験	8	木	
9	土		9	火	本科・専攻科期末試験	9	金	
10	日	専攻科入学者選抜(学力選抜)追試験	10	水	本科・専攻科期末試験 試験終了後HR大掃除	10	土	編入学試験
11	月		11	木	山の日 閉寮(12:00)	11	日	
12	火		12	金	夏季休業(～9/16)	12	月	
13	水		13	土		13	火	
14	木	在学生保護者対象授業参観	14	日		14	水	
15	金	在学生保護者対象授業参観	15	月		15	木	
16	土	学寮寮生保護者会	16	火		16	金	開寮(10:00)
17	日		17	水		17	土	
18	月	海の日 予備日	18	木		18	日	
19	火		19	金		19	月	
20	水	月曜日の授業	20	土	全国高専体育大会(～9/4)	20	火	試験返却・学力強化期間
21	木		21	日		21	水	試験返却・学力強化期間
22	金		22	月		22	木	試験返却・学力強化期間
23	土		23	火		23	金	キャンパスツアー
24	日		24	水		24	土	キャンパスツアー
25	月		25	木		25	日	
26	火		26	金		26	月	学力強化期間
27	水		27	土		27	火	体育祭(延期の場合は休業) 専攻科ガイダンス
28	木		28	日		28	水	体育祭予備日
29	金	専攻科ガイダンス	29	月		29	木	後期授業開始
30	土		30	火		30	金	
31	日		31	水				

令和4年度行事予定表 後期

10 月			11 月			12 月		
1 土	専攻科・大学・大学院合同説明会		1 火			1 木	後期中間学力確認週間(試験または授業) PROGテスト(3年4年)	
2 日			2 水	4限目 HR		2 金	後期中間学力確認週間(試験または授業) 専攻科休業 PROGテスト(3年4年)	
3 月			3 木	文化の日		3 土	予備日	
4 火			4 金			4 日		
5 水	放課後:専攻科インターンシップ報告会		5 土			5 月	後期中間学力確認週間(試験または授業) 水曜日の授業(専攻科2年のみ) 専攻科1年休業	
6 木			6 日			6 火	後期中間学力確認週間(試験または授業) 火曜日の授業(専攻科2年のみ) 専攻科1年休業	
7 金			7 月	3年研修旅行		7 水		
8 土			8 火	3年研修旅行 1年4年5年文化体験日、2年校外研修		8 木		
9 日			9 水	3年研修旅行		9 金		
10 月	スポーツの日		10 木	3年研修旅行		10 土	キャリア教育セミナー 全国高専デザインコンペティション(有明高専)	
11 火			11 金	3年研修旅行		11 日	全国高専デザインコンペティション(有明高専)	
12 水			12 土			12 月		
13 木			13 日	専攻科社会人特別選抜		13 火		
14 金			14 月			14 水	JOINTフォーラム	
15 土	全国高専プロコン(群馬高専)		15 火			15 木		
16 日	全国高専プロコン(群馬高専)		16 水			16 金		
17 月			17 木			17 土		
18 火			18 金			18 日		
19 水	防災訓練 (弁論大会の準備)		19 土			19 月		
20 木	北陸技術交流テクノフェア(専攻科生校外発表) 休講 午前:弁論大会 午後:高専祭準備・クリーン大作戦		20 日			20 火		
21 金	北陸技術交流テクノフェア(専攻科生校外発表) 休講 高専祭		21 月			21 水		
22 土	高専祭		22 火	勤労感謝の日 水曜日の授業		22 木	授業終了後HR・大掃除	
23 日	高専祭 ロボコン東海北陸地区大会(鈴鹿高専)		23 水	後期中間学力確認週間(試験または授業)		23 金		
24 月	休講 (高専祭片付け) 午後:校外実習発表会		24 土			24 土	閉寮(12:00)	
25 火			25 日	(専攻科社会人特別選抜追試験)		25 日		
26 水	月曜日の授業		26 月	全国高専ロボットコンテスト(両国国技館)		26 月	冬季休業(～1/6)	
27 木	在学生保護者対象授業参観		27 火	後期中間学力確認週間(試験または授業)		27 火		
28 金	在学生保護者対象授業参観		28 水	後期中間学力確認週間(試験または授業)		28 水		
29 土	保護者懇談会		29 木	後期中間学力確認週間(試験または授業)		29 木		
30 日			30 金			30 金		
31 月			31 土			31 土		
1 月			2 月			3 月		
1 日	元日		1 水			1 水	特別学習	
2 月			2 木			2 木	本科5年卒研発表、特別学習	
3 火			3 金			3 金	休業 5年卒研発表 5年HR 達成度評価シート記入	
4 水			4 土	予備日		4 土	閉寮(15:00)	
5 木			5 日			5 日		
6 金			6 月			6 月	休業	
7 土			7 火	専攻科2年期末試験		7 火	休業	
8 日			8 水	専攻科2年期末試験		8 水	休業	
9 月	成人の日 閉寮(10:00)		9 木	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年試験返却		9 木	休業	
10 火			10 金	本科・専攻科1年期末試験 試験終了後HR大掃除		10 金	休業	
11 水	月曜日の授業		11 土	建国記念の日		11 土		
12 木	授業終了後教室掃除		12 日	入学者選抜(学力選抜)		12 日		
13 金			13 月	休業 予備日		13 月	休業	
14 土	入学者選抜(推薦選抜)		14 火	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年休業		14 火	休業	
15 日			15 水	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年休業		15 水	休業	
16 月			16 木	本科・専攻科1年期末試験 専攻科2年休業		16 木	休業	
17 火			17 金	試験返却・特別学習		17 金	卒業・修了式	
18 水	放課後:校長表彰・校長講話		18 土	予備日		18 土		
19 木			19 日			19 日		
20 金			20 月	試験返却・特別学習		20 月	休業	
21 土	入学者選抜(推薦選抜)追試験		21 火	試験返却・特別学習		21 火	春分の日	
22 日			22 水	試験返却・特別学習 専攻科2年休業		22 水	学年末休業(～3/31)	
23 月			23 木	天皇誕生日 予備日		23 木		
24 火			24 金	試験返却・特別学習 専攻科2年休業		24 金		
25 水	放課後 専攻科特別研究Ⅱ発表会		25 土			25 土		
26 木	短縮授業 放課後 専攻科特別研究Ⅰ発表会		26 日			26 日		
27 金			27 月	入学者選抜(学力選抜)追試験		27 月		
28 土	予備日 第16回全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(釧路高専)		28 火	試験返却 特別学習		28 火		
29 日	第16回全国高専英語プレゼンテーションコンテスト(釧路高専)		29 水			29 水		
30 月			30 木			30 木		
31 火			31 金			31 金		

令和3年度 卒業・修了式



編集後記

一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。本号では一年生の担任の先生の言葉や、年間行事予定表が掲載されております。先生方の言葉は、高専生活の指針となることが書かれております。一年生はもちろん、二年生以上の学生さんにも参考にしてもらいたいと思います。また、社会に出た際に数ヶ月先のことを考える能力は必須ですので、行事予定表も是非有効活用してください。(西城)

青武台だより

独立行政法人国立高等専門学校機構 福井工業高等専門学校
発行日: 令和4年4月6日

お問い合わせ

福井工業高等専門学校
〒916-8507 福井県鯖江市下司町
TEL: 0778-62-1111